

令和6年度
日南市行政評価外部評価
報告書

令和6年10月31日

日南市行政評価外部評価委員会

目 次

I	はじめに	1
II	市長公約における行政評価外部評価について	
1	市長公約の概要	
(1)	市長公約評価の位置付け	1
(2)	市長が強く推進する取組（市長公約）	1
(3)	市長公約の基本施策項目一覧	2
2	日南市行政評価外部評価委員会の概要	
(1)	外部評価委員会について	3
(2)	委員について	3
(3)	開催状況について	3
(4)	委員会設置要綱	4
(5)	外部評価対象事業の評価・採点について	5,6
III	令和 6 年度外部評価結果	
1	評価結果一覧	7
	人を創る	8
	安心を創る	8
	産業を創る	9
	未来を創る	9
IV	公約達成度（3 年目）	10
V	おわりに	11,12

I はじめに

日南市においては、市民等の外部の視点を導入することにより、客観性及び信頼性の確保並びに効率的で質の高い行政を推進することを目的として、平成 24 年度に「日南市行政評価外部評価委員会」を設置したところです。

令和 4 年度より、これまでの「事務事業」の評価から「市長公約」の評価（達成度等）に手法を変更し、外部評価を実施しています。今回はその評価結果を報告します。

II 市長公約における行政評価外部評価について

1 市長公約の概要

（１）市長公約評価の位置付け

令和 3 年 4 月より高橋市政となり、市長公約として「人を創る」「安心を創る」「産業を創る」「未来を創る」の 4 つのテーマを掲げています。この「4 つの創る」に基づいた施策の実施につきましては、事業の性質や効果などを見極めながら計画的に取り組む必要があります。「4 つの創る」に基づく事務事業の年度ごとの達成度を数値化するために、行政評価外部評価の実施に至ったものです。

（２）市長が強く推進する取組（市長公約）

① 人を創る

未来を担う若者のリーダー育成と産業の担い手や市民から頼れる人（職員）をつくり、持続可能な社会づくりを実現します。

② 安心を創る

災害に強いまちをつくとともに医療と介護、救急医療体制などの充実を図り、暮らしの安心づくりを実現します。

③ 産業を創る

産業の基盤強化や企業誘致の推進、地場産業の育成を図り地域経済の活性化を実現します。

④ 未来を創る

質の高い行政サービスと地域循環型社会をつくり、人口が減少しても誰もが安心して住み続けられるまちづくりを実現します。

(3) 市長公約の基本施策項目一覧

市長公約については、「4つの創る」（大分類）をもとに、中分類と小分類に細分化し、現在取り組んでいる事務事業を「公約の基本施策項目一覧」として整理しています。

大分類（創る）	中分類（つくる）	小分類（項目）
1. 人を創る	1. 担い手をつくる	1. 地域の担い手を育てる
		2. 第一次産業の担い手を育てる
		3. 商工業の事業承継を支える
	2. 未来を拓く子どもたちをつくる	1. 新世代を生き抜く「4つの学ぶ力」を育てる
		2. 地域で子どもを育てる
	3. 人と人とのつながりをつくる	1. 地域のつながりをつくる
		2. 異業種、多世代等のつながりをつくる
	4. 頼れる人をつくる	1. 未来を担う若者のリーダーを育てる
		2. 市民から頼れる職員をつくる
	5. 「人を創る」環境をつくる	1. 誰もが活躍できる環境をつくる
2. 次世代に継承できる環境をつくる		
3. 地域への愛着が育つ環境をつくる		
2. 安心を創る	1. 暮らしの安心をつくる	1. 安心して子育てできる環境をつくる
		2. 生活の安全・安心を守る
		3. 安心につながる健康づくりを支える
	2. 災害に強いまちをつくる	1. 防災対策を強化する
		2. 地域防災力を高める
	3. 医療と介護の安心をつくる	1. 安心して生活できる医療体制を保ち続ける
2. 切れ目のない医療と介護の提供体制をつくる		
3. 産業を創る	1. 基盤をつくる	1. 産業の育成、発展につながる環境をつくる
		2. 生産性の向上につながる整備を支える
	2. 地域資源を活用した産業をつくる	1. 生産物の付加価値を高める
		2. 豊富な観光資源を活かした新たな観光戦略をつくる
	3. 雇用をつくる	1. 企業誘致を進める
		2. 地場産業の育成を支える
4. 未来を創る	1. 住み続けられるまちをつくる	1. SDGsをまちづくりに生かす
		2. 人口減少対策を強化する
	2. 循環型社会をつくる	1. 地域内での経済循環をつくる
		2. 自然に負担をかけないまちをつくる
	3. 質の高い行政サービスをつくる	1. 便利で効率的な行政サービスをつくる
		2. 市民ニーズに応える行政サービスをつくる

2 日南市行政評価外部評価委員会の概要

(1) 外部評価委員会について

日南市行政評価外部評価委員会設置要綱第1条に基づき、外部評価委員会を設置しています。

(2) 委員について

委員の任期は2年（令和6～7年度）で、下記委員で構成しています。

N o .	所属団体等	役職等	氏 名
1	宮崎大学 地域資源創成学部	教授	くわの ひとし 桑野 齊
2	学校法人日南学園 日南看護専門学校	校長	おがわ じゅんこ 小川 淳子
3	一般財団法人 みやぎん経済研究所	常務理事	おがみ かずひろ 尾上 和広

※一般財団法人 みやぎん経済研究所 常務理事 爲山高志（令和6年6月25日まで）

(3) 開催状況について

令和6年度は、外部評価委員会を3回開催しました。

◆第1回委員会

日時：6月18日（火） 14：00～15：30

場所：日南市役所 本館2階会議室1

内容：外部評価対象事業の選定、評価・採点について など

◆第2回委員会

日時：8月20日（火） 9：30～17：00

8月21日（水） 9：30～15：30

場所：日南市役所 本館2階会議室1

内容：担当課及び総合政策課による事業説明

◆第3回委員会

日時：10月31日（木） 14：00～15：00

場所：日南市役所 本館2階会議室1 及び市長応接室

内容：外部評価結果のまとめ、市長報告

(4) 委員会設置要綱

日南市行政評価外部評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 市が実施する行政評価において、市民等の外部の視点を導入することにより、評価の客観性及び信頼性の確保並びに効率的で質の高い行政を推進することを目的として、日南市行政評価外部評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 市が実施した行政評価について、外部の視点からの評価に関すること。
- (2) 行政評価制度の改善について市長に意見を述べること。
- (3) その他行政評価について、市長が必要と認める事項に関すること。

(構成等)

第3条 委員会は、委員8人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 公募による市民
- (3) その他市長が認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を各1人置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が必要に応じて招集する。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者又は関係職員の出席を求めることができる。

3 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

4 委員会は、原則として公開する。ただし、公開が適当でないと認める場合は、この限りでない。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、総合政策課が行う。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

(5) 外部評価対象事業の評価・採点について

○評価・採点に関する指針について

●評価の視点について

① 公約達成のための「到達度」の視点

⇒ K P I の達成率、K P I の設定は合理的かどうか

⇒ 事業の進捗状況

② 公約達成のための「貢献度」の視点

⇒ 公約実現に必要な事業かどうか

●採点基準について

評価の視点について、以下のとおりの配点とし、**1事業10点満点**で採点する。

① 到達度 6点

② 貢献度 4点

●評価結果について

各委員の採点結果の平均点を評価対象事業の評価結果（10点満点）とする。

また、4つの創るごとに採点結果の合計を算出し、委員数・事業数で割った点数を公約達成度（10点満点）とする。

【例】 1. 人を創る（4事業）の場合

事業名	A委員	B委員	C委員	合計	平均点 (合計/委員数3名)
〇〇事業	10	9	10	29点	9.7点
●●事業	7	8	9	24点	8点
◎◎事業	6	8	5	19点	6.3点
△△事業	9	10	8	27点	9点
合計	32	35	32	99点	33点

【公約達成度の算出方法】

(合計) (委員数) (平均点)
99点 / 3名 = 33点

(平均点) (事業数) (公約達成度)
33点 / 4事業 = 8.3点

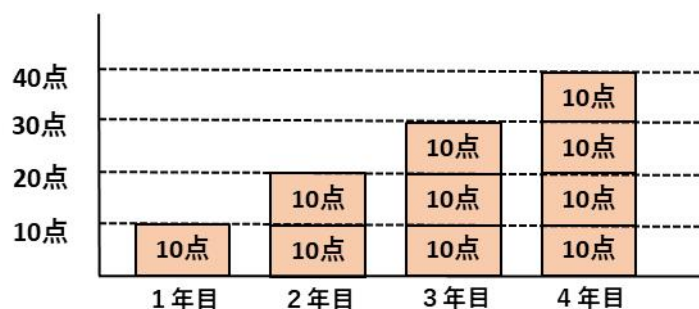
令和6年度 人を創る

公約達成度 (10点満点)

8.3点

●及第点の視点について

市長の任期である4年間での公約達成度を示すために、年度を追うごとに評価結果を積み重ね、最終的な公約達成度を40点満点で示す。



(例:「人を創る」の公約達成度)

令和4年度

令和5年度

令和6年度

7.1点 + 6.5点 + 8.3点 = 21.9点

(30点満点)

Ⅲ 令和 6 年度外部評価結果

1 評価結果一覧

	到達度 (6点)	貢献度 (4点)	公約達成度 (10点)
1 人を創る	4.0	2.9	6.9
2 安心を創る	4.4	3.7	8.1
3 産業を創る	4.9	3.4	8.3
4 未来を創る	4.9	3.5	8.4

【公約達成度の算出方法】

● 各委員の採点結果（到達度・貢献度）を平均し、合計した結果を評価対象事業の公約達成度（10点満点）とする。

● 4つの創るごとに採点結果の合計を算出し、委員数・事業数で割った点数を公約達成度（10点満点）とする。

※ 採点結果について、小数点以下第2位を四捨五入しているため、公約達成度の計算が合わない場合があります。

Ⅲ 令和6年度外部評価結果

大分類（創る）	中分類（つくる）	小分類（項目）	到達度（6点）	貢献度（4点）	公約達成度（10点）
1. 人を創る	1. 担い手をつくる	1. 地域の担い手を育てる	4.0	2.9	6.9
		2. 第一次産業の担い手を育てる			
		3. 商工業の事業承継を支える			
	2. 未来を拓く子どもたちをつくる	1. 新世代を生き抜く「4つの学ぶ力」を育てる			
		2. 地域で子どもを育てる			
	3. 人と人とのつながりをつくる	1. 地域のつながりをつくる			
		2. 異業種、多世代等のつながりをつくる			
	4. 頼れる人をつくる	1. 未来を担う若者のリーダーを育てる			
		2. 市民から頼れる職員をつくる			
	5. 「人を創る」環境をつくる	1. 誰もが活躍できる環境をつくる			
		2. 次世代に継承できる環境をつくる			
		3. 地域への愛着が育つ環境をつくる			

<委員からの意見等>

- 「人を創る」の評価対象は、商工業、地域コミュニティ、農業の3分野に係るもので、いずれの分野においても人口減少や少子高齢化を背景に担い手の枯渇が顕著になり、組織や機能の問題点が顕在化している。この意味で今回取り上げた各事業は対象は異なるとはいえ、本市の共通課題の解決に資する重要なミッションを有している。
- 「人を創る」の公約は、短期で結果を出しにくい分野ではあるが、ビジョンを持って事業を進めていくことで変化していくことを期待する。
- 少子化の進展や人手不足、また、新型コロナウイルス感染症の拡大など厳しい事業環境の中においても、公約の達成に向けて各事業を着実に実施し成果をあげている。
- 「安心を創る」「未来を創る」各事業と合わせて、日南市の強みを活かした更なる教育環境の充実、若者の育成、企業の成長促進等に資する事業に引き続き取り組んでいただきたい。

大分類（創る）	中分類（つくる）	小分類（項目）	到達度（6点）	貢献度（4点）	公約達成度（10点）
2. 安心を創る	1. 暮らしの安心をつくる	1. 安心して子育てできる環境をつくる	4.4	3.7	8.1
		2. 生活の安全・安心を守る			
		3. 安心につながる健康づくりを支える			
	2. 災害に強いまちをつくる	1. 防災対策を強化する			
		2. 地域防災力を高める			
	3. 医療と介護の安心をつくる	1. 安心して生活できる医療体制を保ち続ける			
		2. 切れ目のない医療と介護の提供体制をつくる			

<委員からの意見等>

- 地域社会の中で「安心を創る」ことは、市民生活全体の安定化を図り、持続可能な社会形成の基盤となる。この基盤は移住・定住者の増加にもつながり、本市の地方創生や活性化に直接的・間接的なプラスの効果をもたらすものと考えられる。
- 子育て世帯の「安心」が本市の未来を創出する条件となり、また、地方創生の具体的な目標が20～30代の若い女性人口の減少率を抑制することにあることから、今回の事業だけではなく、他の子育て支援の取り組みも極めて重要である。
- 「日南市の安全で安心して生活できるまちづくり」の実現に向けて、少子高齢化が進む中で、市民のニーズに応じた事業が展開されている。
- 病児保育子育て支援のように変更・追加事業によって、対象となる利用者の増加など、明らかに改善していることを実感でき、各事業の「評価・改善・計画・実施」対策が、「安心を創る」に繋がるのだと考える。
- 災害対策、地域医療対策についても市民の関心は高い。市民が安心を感じれるまちづくりが求められている。
- 「暮らしの安心づくり」を実現するため、地域公共交通の補完や子育て支援等に資する事業に取り組んでおり、地域住民への貢献度も大きいと評価する。
- 今後もふるさと納税により得られた資金を、道路などの整備により更に安心して暮らせる住みやすい環境をつくることで、地元回帰や移住者の増加が婚姻数の増加・出生数の増加につながるよう期待したい。

大分類（創る）	中分類（つくる）	小分類（項目）	到達度 （6点）	貢献度 （4点）	公約達成度 （10点）
3. 産業を創る	1. 基盤をつくる	1. 産業の育成、発展につながる環境をつくる	4.9	3.4	8.3
		2. 生産性の向上につながる整備を支える			
	2. 地域資源を活用した産業をつくる	1. 生産物の付加価値を高める			
		2. 豊富な観光資源を活かした新たな観光戦略をつくる			
	3. 雇用をつくる	1. 企業誘致を進める			
		2. 地場産業の育成を支える			

<委員からの意見等>

○「産業を創る」を構成する事業群は、社会経済の変化や影響に敏感に反映するものが多く、事業成果が年度によって大きく上下することも見られ、事業の安定的・継続的な推進が課題となることが多い。また、取組手法が公民連携型となることから、常に合格点の成果・成功を求めるのではなく、毎年度の試行錯誤や浮き彫りになった課題の分析や対応など、次年度以降につなげている姿勢・取組が重要と考える。

○人口減少が加速化していく中で、産業の活性化は最重要課題である。各事業が課題解決に向かい、ふるさと応援寄付金事業のように結果を出していることが、新たに消費者からの需要に繋がって好循環に繋がっていくのだと思う。

○現在の産業をさらに価値あるものに、そして新たな事業を誘致して雇用の創出が人口流出の抑制に繋がることを期待したい。

○「地域経済の活性化」を図るため、産業の基盤強化や企業誘致に取り組んでおり、中でも「地場産品販路拡大・競争力強化支援事業」や「ふるさと応援寄付金事業」では、大きな成果をあげている。

○今後も東九州自動車道の開通と延伸を地場産業の強化に活かせるような取り組みと、地域内で資金の循環が活発になる事業や更なる外貨を得られる事業の取り組みに期待したい。

大分類（創る）	中分類（つくる）	小分類（項目）	到達度 （6点）	貢献度 （4点）	公約達成度 （10点）
4. 未来を創る	1. 住み続けられるまちをつくる	1. SDGsをまちづくりに生かす	4.9	3.5	8.4
		2. 人口減少対策を強化する			
	2. 循環型社会をつくる	1. 地域内での経済循環をつくる			
		2. 自然に負担をかけないまちをつくる			
	3. 質の高い行政サービスをつくる	1. 便利で効率的な行政サービスをつくる			
		2. 市民ニーズに応える行政サービスをつくる			

<委員からの意見等>

○「未来を創る」として、人材確保（次世代育成）、自治体経営（DX）、人口（移住定住）、地域ストック（空き家）など、各分野における特色のある性格・内容をもつ事業で構成されている。また、これら事業の成果は、本市の未来を創出するうえで大きな影響をもたらすと考える。

○「未来を創る」を構成する事業群は、地域課題への対応を背景に各自治体が創意工夫、試行錯誤のなかから特色のある取組を構築するものが多くなっている。特に今回取り上げた4事業は、こうした意味で他の自治体の取組との差別化や競争を意識することも重要な事業となっている。日南市の現状や課題に密着し、本市独自の「日南市モデル」となる事業の構築や推進を志向してほしい。

○4つの事業がそれぞれ、結果を出している印象を受けた。未来に希望が持てるまちづくりは、それぞれの事業の地道な取り組みが繋がってできるものだと思う。

○「安心して住み続けられるまちづくり」を目指して、DX推進による住民サービスの向上と行政事務の効率化、若手の人材育成と移住の促進に積極的に取り組み成果をあげている。

○今後も既存の住民と外国人労働者も含めた移住者が住みやすい環境整備につながる事業に取り組み、出生数の増加、生産年齢人口の増加により地域の未来の礎を築いていくことを期待する。

Ⅳ 公約達成度（3年目）

	到達度 (18点)	貢献度 (12点)	公約達成度 (30点)
1 人を創る	11.0	9.5	20.5
2 安心を創る	13.2	10.3	23.5
3 産業を創る	14.5	9.8	24.3
4 未来を創る	13.1	9.9	23.0

※3年目の公約達成度については、30点満点

※参考：公約達成度（1～3年目）

	1年目	2年目	3年目	合計
1 人を創る	7.1	6.5	6.9	20.5
2 安心を創る	7.3	8.1	8.1	23.5
3 産業を創る	7.5	8.5	8.3	24.3
4 未来を創る	6.7	7.9	8.4	23.0

【及第点の視点】

●市長の任期である4年間での公約達成度を示すために、
年度を追うごとに評価結果を積み重ね、最終的な公約達成度を
40点満点で示す。

※採点結果について、小数点以下第2位を四捨五入しているため、公約達成度の計算が合わない場合があります。

V おわりに

日南市においては、令和3年4月に高橋透市長が就任され、市長公約として「人を創る」、「安心を創る」、「産業を創る」、「未来を創る」の4つが掲げられ、その実現に向け様々な事業に取り組まれている。

今回は、この4つの公約の達成状況について高橋市長就任3年目の取組内容等について、到達度、貢献度を基に評価を実施した。

まず「人を創る」については、短期で結果を出しにくい分野ではあるが、中長期のビジョンを持って事業を進めていくことで変化していくことを期待したい。

また、その他の公約の各事業と合わせて、日南市の強みや個性を活かした更なる教育環境の充実、若者の育成、企業の成長促進等に資する事業に引き続き取り組んでいただきたい。

「安心を創る」については、少子高齢化が進む中で、市民のニーズに応じた事業が展開され、地域公共交通の補完や子育て支援等に資する事業に取り組まれており、地域住民への貢献度も大きいと評価する。

一方で、災害対策や地域医療対策についても市民の関心は高く、より一層市民が安心を感じられるまちづくりを期待したい。

「産業を創る」については、人口減少が加速化していく中で、産業の活性化は最重要課題である。東九州自動車道の開通と延伸を機会に、地場産業の強化に活かせるような新たな産業・企業等の誘致による、雇用の創出や人口流出の抑制、また地域内で資金の循環が活発になる事業や更なる外貨を得られる事業の取り組みを期待したい。

「未来を創る」については、未来に希望が持てるまちづくりは、事業の地道な取り組みが繋がってできるものであり、DX推進による住民サービスの向上と行政事務の効率化、若手の人材育成、移住促進など積極的な取り組みが進められる中で、着実な成果をあげている。

今後も、住民と外国人労働者も含めた移住者が住みやすい環境整備につながる事業により、出生数や生産年齢人口の増加により地域の未来の礎を築いていくことを期待したい。

総評として、高橋市長就任３年目ということで、各事業が個別に進められるのではなく、「４つの創る」を基本理念に事業全体の一体性・連携性が年度を重ねるごとに強化されてきている。

公約達成のため新たな事業の展開、またこれまでの事業においても、市民ニーズやPDCA サイクルによる事業内容の変更や追加などによる事業の磨き上げができており、「４つの創る」の実現に向け様々な事業が展開され、着実な取り組みの成果が創出されていると評価できる。

今後は、地域課題への対応を背景に各自治体が創意工夫、試行錯誤の中から特色のある取組を構築するものが増えており、日南市においても他の自治体の取組との差別化や競争を意識することも重要となってくる。日南市の現状や課題に密着し、独自の「日南市モデル」となる事業の構築や推進を志向してほしい。

最後に、今回の評価結果を踏まえ、今後も引き続き、高橋市長が掲げる公約「４つの創る」の達成に向けて積極的な事業展開を図っていただき、市民の満足度向上が図れるようお願いしたい。

令和６年１０月

日南市外部評価委員会